

## 平成26年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称	〔15〕東京都台東区立特別養護老人ホーム谷中					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。					
(2)類似施設の管理実績	特別養護老人ホーム浅草・特別養護老人ホーム千束・特別養護老人ホーム三ノ輪					
(3)経営状況	(25年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入2,763,451,917円,歳出2,671,778,593円,収支差額91,673,324円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区谷中2-17-20					
(2)設置目的	居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話をを行い、高齢者の福祉の向上を図る。					
(3)利用者	常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者					
(4)開館日・時間	通年、24時間					
(5)規模	延べ床面積 2,794.36㎡のうち2,351.4㎡ 鉄筋コンクリート造 地上3階地下1階 居室、食堂、浴室(機械浴、一般)、静養室、ボランティア室、談話室など					
(6)人員体制	26名 内訳...施設長(1)、事務員(1)、相談員(1)、介護職員(常勤18、非常勤2)、看護職員(2)、栄養士(1)					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	入所者の健康管理、機能訓練、生活介助{食事、介護(排泄・入浴援助)}、地域ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓等					
(2)自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算	委託料	58,610,000	58,218,755	44,055,200	44,232,650	39,514,000
	利用料金収入	221,238,000	230,881,000	236,300,000	240,731,000	239,976,000
	その他収入	17,134,000	14,289,245	11,679,800	6,652,350	10,543,000
	管理経費	296,982,000	303,389,000	292,035,000	291,616,000	290,033,000
決算	委託料	58,610,000	58,215,269	44,038,400	44,204,930	39,514,000
	利用料金収入	211,273,003	236,978,990	232,781,238	234,093,507	233,309,618
	その他収入	7,480,242	12,396,966	10,555,999	16,832,181	6,352,694
	管理経費	286,884,032	282,252,026	266,465,409	270,621,176	270,463,449
	収支	-9,520,787	25,339,199	20,910,228	24,509,442	8,712,863
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	
入所定員(ショートステイ含む)	人	56	56	56	56	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値(27年度)	23年度	24年度	25年度	
利用率(特養+ショート)	%	90.0	95.6	95.0	97.9	
利用者数(特養+ショート)	人	18,400	19,604	19,775	20,009	

7．平成25年度評価結果に対する現在までの取組み					
ソフト食やなめらか食の提供等を継続するとともに、家族の面会時間に制限を設けない、またショートステイの空き状況をホームページに掲載するなど、引き続き利便性の向上に取り組んでいる。					
8．評価項目		3：協定等の水準を上回っている。 2：協定等の水準どおりである。 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。	0：協定等の水準を下回っている。 -：評価対象外項目。		
評価の観点	評 価 項 目				
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 (b)サービス水準 (c)職員配置 (d)職員研修 (e)案内・接遇	[2] [2] [2] [2] [2]	(f)開館時間等の遵守 (g)自主事業の成果 (h)個人情報保護 (i)緊急時対応 (j)警備・防犯体制	[2] [-] [2] [2] [2]	
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 (b)備品の管理 (c)清掃・衛生管理 (d)施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e)危険箇所等の確認 (f)管理記録の作成・保存 (g)業務委託の事前承認 (h)省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]	
(3)利用者の満足度 平均 [2.2]	(a)利用者・第三者機関の評価 (b)苦情・要望への対応と報告 (c)利用者数の目標達成	[2] [2] [2]	(d)利用しやすい環境整備 (e)関係団体・地域との関わり	[3] [2]	
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 (b)管理経費の効率化	[2] [2]	(c)収支計画の達成 (d)利用料等の徴収・管理	[2] [2]	
9．評価		S（水準以上）： 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A（適正）： 協定等の水準を満たす管理が行われている。 B（一部課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C（課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D（水準未滿）： 協定等の水準を満たしていない。			
評価の観点	評 価	説 明			
(1)事業の運営	A	ソフト食やなめらか食の提供等食形態の工夫による経口摂取の維持に取り組むとともに、職員研修においては、外部研修に参加した職員が施設内部で伝達研修を行うなど、サービス向上に向けた取り組みが実施されている。			
(2)施設の維持管理	A	老朽化した施設を管理運営していく中で、各種の保守点検及び清掃・衛生管理について、全体的に適切に行われている。			
(3)利用者の満足度	S	利用者満足度調査では、概ね高い評価を受けており、ショートステイの空き状況をホームページに掲載するなど、利便性の向上を図っている。			
(4)収入支出	A	適正な予算管理、予算執行がなされている。			
10．総合評価		良好 妥当 要努力 要改善 不適			
		妥当	満足度調査における評価は概ね高く、利便性の向上を図る様々な取り組みなど、適切な運営が行われている。		
11．平成26年度評価結果に対する今後の対応					
平成28年度実施予定の改修工事に伴い、平成27年度以降は入所制限による利用者数の減少を見込んでいるが、今後も利便性の向上を図っていくとともに、地域との連携も継続しながら、地域に開かれた運営を行っていく必要がある。					